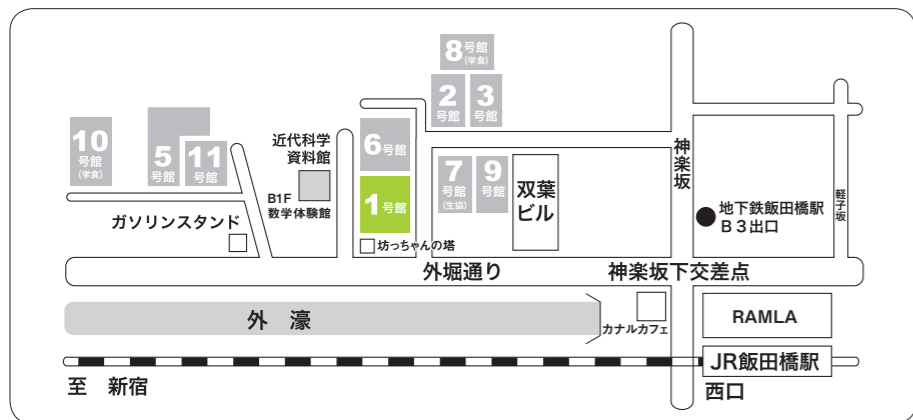
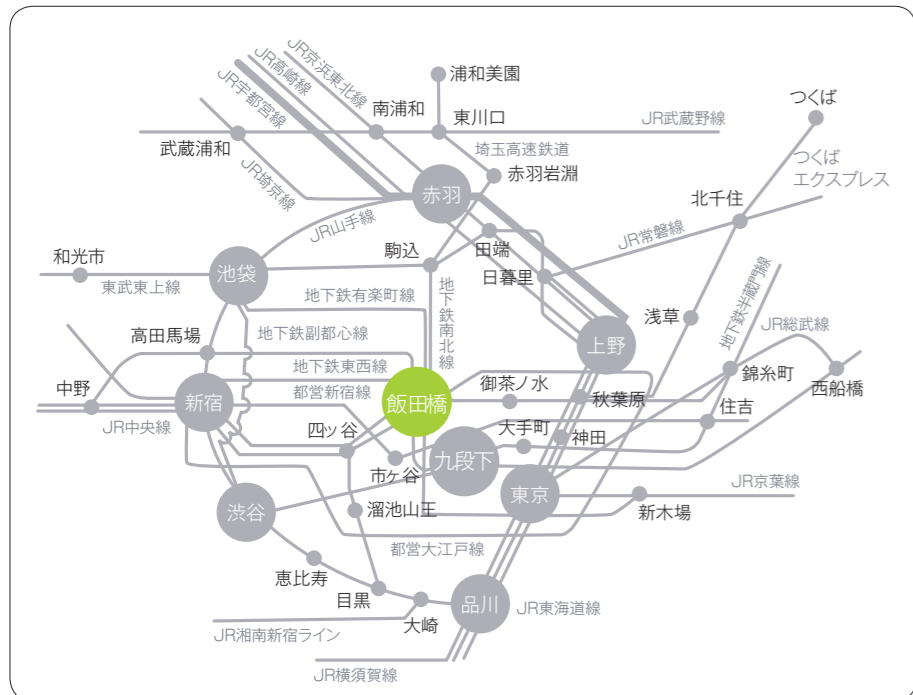


- JR 総武線・東京メトロ 有楽町線・東西線・南北線 飯田橋駅下車 徒歩3分
- 都営大江戸線 飯田橋駅下車 徒歩10分



国際科学オリンピックとは…

世界中の中等教育課程にある生徒(日本では主に高校生に相当)を対象にした科学技術に関する国際的なコンテストであり、「知のオリンピック」とも呼ばれています。国際科学オリンピックの始まりは、ルーマニアがハンガリー、ブルガリア、ポーランド、チェコスロバキア、東ドイツ、ソ連を招待し、名実ともに数学好きの子どもたちを集めて1959年に数学オリンピックを開催したのが最初です。主な目的は、この国際的な科学コンテストを通してすべての国の科学的才能に恵まれた子どもたちを見出し、その才能を伸ばすチャンスを与えること、その才能を伸ばすこと、国際交流・国際理解を深めること等を目的とし、各国の持ち回りで毎年開催されています。教科、科目、分野には、数学以外に物理、化学、情報、生物学、地理、地学があります。大会当日は、通常、それぞれ5時間に及ぶ理論試験(全科目共通)と実験試験(物理、化学、生物学)・実技試験(地学)等が出題され個人戦として競われ、総合成績の順に金メダル(上位ほぼ1割)、銀メダル(次の2割)、銅メダル(次の3割)がそれぞれ贈られます。

お申し込み方法

E-mail・FAXのいずれかにて以下の事項をお伝えください。

- 氏名 所属(学校名等) 連絡先(電話番号) メールアドレス

お申し込み・お問い合わせ先

東京理科大学 総合教育機構 理数教育研究センター(事務局・学務部学務課(神楽坂))

E-mail. [rcmse@admin.tus.ac.jp](mailto:rcmse@admin.tus.ac.jp)

FAX. 03-5228-7330 TEL. 03-5228-7329

URL. <http://oae.tus.ac.jp/rcmse/>

# 国際科学オリンピック ——メダリストの想い

東京理科大学 総合教育機構 理数教育研究センター

## 平成26年度公開シンポジウム

参加無料  
(要事前申込)

### 第3回国際科学オリンピック公開シンポジウムの開催に向けて



あきやま じん  
秋山 仁  
東京理科大学 総合教育機構  
理数教育研究センター長

このシンポジウムは多くの科学教育にかかわる人々の耳目を集め、お陰様で毎回賑やかにかつ実り多き成果を収めております。今回は、昨年に引き続き、かつて国際科学オリンピックで大活躍をされた輝くメダリストたちに集まっていただき、以下の事柄をテーマに存分に語っていただくことになりました。

- ①オリンピックの意義、特に出場の体験が彼らの進路決定や職業選択において、どのような影響を及ぼしたか。
- ②現在の職場(または学部や大学院)において、出場体験がどのように役に立っているか。
- ③高校と大学のカリキュラムのギャップを埋めるためにオリンピックがどのような役割を演じているか。または演じるべきか。
- ④オリンピックで好成績を収めることと研究能力の差異は何か。
- ⑤オリンピックにこれから挑戦しようと考えている後輩たちへのアドバイス

彼らの体験を通じた意見や提言を踏まえて、我が国のこれからの科学教育はどうあるべきかについて皆様方と活発に討論する場をしたいと考えております。どうぞ奮ってご参加ください。

趣旨

国際科学オリンピックのうち、日本は数学(開始1959年・初参加1990年)、情報(同1989年・1994年)、化学(同1968年・2003年)、生物学(同1990年・2005年)、物理(同1967年・2006年)、地学(同2007年・2008年)、地理(同1996年・2000年)の7教科に参加中で、4度の主催(数学2003年、生物学2009年、化学2010年、地理2013年)を経験し、物理が2022年に主催予定です。

昨年10月に本学で開催した公開シンポジウム(国際科学オリンピックメダリストは語る)に続く第2弾として今年度も、文部科学省人材政策課の施策紹介に加え、上記7教科から1名ずつ、メダリストとなった優秀な若手より、参加時の回想や、参加体験で得たもの、現在の視座から見た参加の意義などを語っていただきます。

パネルディスカッションを含めて彼らの肉声を聴くことにより、各教科の科学オリンピックで問われる能力と日本の高校理数教育との関係、理数教育の改善に向けた示唆、科学オリンピック参加・主催の意義などが浮き彫りになると期待します。

後援：文部科学省  
独立行政法人 科学技術振興機構

日時

平成26年

10月19日(日) 13:30~17:00

東京理科大学 神楽坂校舎

1号館17階 記念講堂

講師

松尾 泰樹 氏  
(文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課長)

近藤 宏樹 氏(数学メダリスト)

劉 鴻志 氏(情報メダリスト)

村下 湧音 氏(物理メダリスト)

永澤 彩 氏(化学メダリスト)

山川 真以 氏(生物学メダリスト)

大西 泰地 氏(地学メダリスト)

平賀 美沙 氏(地理メダリスト)

**プログラム** **日程** 2014年10月19日(日) **会場** 東京理科大学 神楽坂校舎 1号館17階 記念講堂  
 総合司会 東京理科大学 総合教育機構 理数教育研究センター 渡辺 正

13:00	受付開始
13:30~13:40	開会挨拶
13:40~13:55	<b>講演①「科学オリンピックと人材育成」</b> 文部科学省 松尾 泰樹 氏
13:55~14:10	<b>講演②「数学オリンピック体験から」</b> 数学メダリスト 近藤 宏樹 氏
14:10~14:25	<b>講演③「情報オリンピック体験から」</b> 情報メダリスト 劉 鴻志 氏
14:25~14:40	<b>講演④「物理オリンピック体験から」</b> 物理メダリスト 村下 湧音 氏
14:40~14:55	<b>講演⑤「化学オリンピック体験から」</b> 化学メダリスト 永澤 彩 氏
14:55~15:10	休憩
15:10~15:25	<b>講演⑥「生物学オリンピック体験から」</b> 生物学メダリスト 山川 眞以 氏
15:25~15:40	<b>講演⑦「地学オリンピック体験から」</b> 地学メダリスト 大西 泰地 氏
15:40~15:55	<b>講演⑧「地理オリンピック体験から」</b> 地理メダリスト 平賀 美沙 氏
15:55~16:10	休憩
16:10~16:55	<b>パネルディスカッション</b> 司会 東京大学 松田 良一 氏
16:55~17:00	閉会挨拶

**講師紹介**

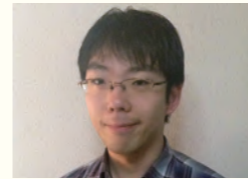


**松尾 泰樹** 氏  
 文部科学省  
 科学技術・学術政策局  
 人材政策課長

**講演① 科学オリンピックと人材育成**

■ 略歴

1987年、東京大学大学院理学系研究科物理学専門課程修了、同年旧科学技術庁入庁。在中国日本大使館、文部科学省ライフサイエンス課長、研究開発戦略官(核融合)、理化学研究所横浜研究所研究推進部長、文科省高等教育局学生・留学生課長などを経て、2013年7月より現職。人材政策課では、国際科学五輪の支援をはじめ、大学学部生等が自主研究を発表、切磋琢磨する「サイエンス・インカレ」、先進的な理数教育を実施する「スーパーサイエンスハイスクール」、高等学校段階の生徒が協働して科学的課題に挑戦する「科学の甲子園」、各都道府県代表の中学生チームが課題に挑戦する「科学の甲子園ジュニア」など、次世代の人材育成施策等を担当。



**近藤 宏樹** 氏

**講演② 数学オリンピック体験から**

数学オリンピック第41回韓国大会(2000年、大田)銅メダリスト(開成高等学校1年生)、数学オリンピック第42回アメリカ大会(2001年、ワシントンD.C)銅メダリスト(開成高等学校2年生)、数学オリンピック第43回イギリス大会(2002年、グラスゴー)銀メダリスト(開成高等学校3年生)。1998年、1999年の数学オリンピック国内選抜にも参加。

**ひとこと** 国際数学オリンピックでは、世界中から数学好きの中高生が集まっていることや数学を共通言語として交流できることがとても刺激的でした。国内でも今日に繋がる出会いがいくつもあり、大変貴重な場でした。

保険会社勤務/九州大学大学院 数理学府 数理学専攻 後期博士課程2年/(公財)数学オリンピック財団評議員/国際数学オリンピック日本委員会常任委員/東京大学大学院 数理科学研究科 数理学専攻 修士課程修了



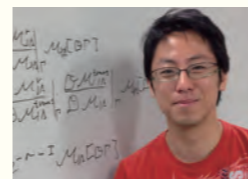
**劉 鴻志** 氏

**講演③ 情報オリンピック体験から**

情報オリンピック第24回イタリア大会(2012年、シルミオーネ)銀メダリスト(栄光学園高等学校2年生)、情報オリンピック第25回オーストラリア大会(2013年、ブリスベン)銀メダリスト(栄光学園高等学校3年生)。2011年の情報オリンピック国内選抜にも参加。

**ひとこと** 情報オリンピックを通じて、国内/国際大会で素晴らしい仲間と出会い、そして何かの目標に向かって努力することの楽しさを知ることが出来ました。結果は金メダルに届かなかったけれど、人生を変える貴重な経験になると思います。

東京大学 教養学部 理科一類 1年



**村下 湧音** 氏

**講演④ 物理オリンピック体験から**

物理オリンピック第37回シンガポール大会(2006年、シンガポール)(灘高等学校1年生)、物理オリンピック第38回イラン大会(2007年、イスファハン)金メダリスト(灘高等学校2年生)、物理オリンピック第39回ベトナム大会(2008年、ハノイ)金メダリスト(灘高等学校3年生)。2006年数学オリンピック、生物学オリンピック、2007年の数学オリンピック、生物学オリンピック、2008年の数学オリンピック、生物学オリンピック、情報オリンピック国内選抜にも参加。

**ひとこと** 高校生の間、長期的かつ計画的に物理を学び、その結果を金メダルという形で認められた事は、大きな自信に繋がっています。また、五輪を通して出会った人々との交流は、自分の世界を予想できない形で広げ続けています。

東京大学大学院 理学系研究科 物理学専攻 修士課程 2年/東京大学 理学部 卒業



**永澤 彩** 氏

**講演⑤ 化学オリンピック体験から**

化学オリンピック第41回イギリス大会(2009年、ケンブリッジ)銅メダリスト(白陵高等学校3年生)。2007年の化学オリンピック、2008年の数学オリンピック、化学オリンピック国内選抜にも参加。

**ひとこと** 化学オリンピックを目標に勉強しているうちにますます化学が好きになり、気付けば現在も化学にどっぷり漬かっています。オリンピックを通じて得た経験や友人は一生の宝物となりました。

東京大学大学院 工学系研究科 化学生命工学専攻 修士課程 1年/東京大学 工学部 卒業



**山川 眞以** 氏

**講演⑥ 生物学オリンピック体験から**

生物学オリンピック第20回日本大会(2009年、つくば)銀メダリスト(桜蔭高等学校3年生)。2008年の生物学オリンピック、化学オリンピック、2009年の物理オリンピック、化学オリンピック国内選抜にも参加。

**ひとこと** 最高の環境で、最高の仲間たちと切磋琢磨し、全力を出し切った思い出深い夏でした。

慶應義塾大学 医学部 医学科 5年



**大西 泰地** 氏

**講演⑦ 地学オリンピック体験から**

地学オリンピック第4回インドネシア大会(2010年、ジョグジャカルタ)銀メダリスト(白陵高等学校2年生)。2009年、2010年の数学オリンピック国内選抜にも参加。

**ひとこと** 科学五輪は単に自身の力を試すというだけでなく、国内そして世界中の高校生と交流し、刺激されることで自分を見直す良い機会でした。

東京大学 医学部 医学科 3年



**平賀 美沙** 氏

**講演⑧ 地理オリンピック体験から**

地理オリンピック第10回日本大会(2013年、京都)銅メダリスト(桜蔭高等学校3年生)。2012年の地理オリンピック国内選抜にも参加。

**ひとこと** とても暑く、熱い京都の夏でした。大会中は大変だったはずですが、今となっては楽しさしか思い出せません。国際交流や密度の濃い大会は今も自分の糧となっています。本当の地理の面白さを体感できた貴重な経験でした。

東京大学 教養学部 理科一類 1年